



この会報は、廿日市市国際交流協会および協会で活動するグループの活動報告と会員の交流・会員募集を目的に発行します。

日本語学習支援者養成講座をオンライン開催しました

1月22日(土)、2月5日(土)、2月12日(土)にオンラインによる日本語学習支援者養成講座を開催しました。今回の講座は、宮内地域に新たな日本語教室を立ち上げるにあたり、ボランティアとして一緒に日本語教室運営に携わっていただける方を対象に開催し、講座には27名の方々が参加されました。

講師には、ひろしま国際センターより、日本語常勤講師である犬飼康弘先生をお招きし、地域の日本語教室をボランティアのみなさんと作り上げていく上で必要なエッセンスについて、お話いただきました。

第1回目は、『地域日本語教室の役割』というテーマで開催。グループに分かれて、どんな日本語教室にしたいか、理想的な地域日本語教室とはどんなものなのかを話し合いました。



参加者の声

☆同じ興味を持った方がたくさんいらっちゃって、近いうちに会って色々お話ししたいなと思いました。私も海外の語学学校にいた時やホストファミリーとの生活に困ったことがあったので、日本にいる外国の方達にも少しでも不安を取り除けるように接していけたらと思います。

☆地域日本語教室という存在を初めて知りました。外国の方の支援をしたいと思い受講希望しましたが、同じ志の方々と繋がることで、私自身もまた新たなネットワークを授かることになると感じました。

☆地域の日本語教室の果たす役割の大きさを感じました。

☆日本語の文法等の学習だけではなく、楽しく参加できる場、相談できる場、また交流等を通して地域との橋渡しが地域日本語教室の役割というのはなるほどと思った。

☆社会教育の観点から地域日本語教室の大事さが分かりました。外国の方だけでなくだれもが住みやすい世の中ではなくてはいけません。社会生活に必要な情報がいきわたり、安心して暮らせる地域・社会に繋がっていくための橋渡しをしていく一つが日本語教室だと思いました。

第2回、第3回の様子は裏面へつづく→

第2回 日本語学習支援者養成講座は、『やさしい日本語』をテーマに開催しました。私たちが日常的に見かけたり話したりする日本語には、外国人の方にとって分かりにくい表現がたくさんあります。その人の母国の言葉は話せないからコミュニケーションできない。と諦めるのではなく、「やさしい日本語」を使うことで、相手の母語にかかわらず、情報を正しく伝えることができることを学びました。

実際に、災害時に送られてくる緊急メールや、学校から配られる保護者へのお手紙などには難しい日本語がたくさん含まれています。これらを「やさしい日本語」に変換するとどんな表現になるか。グループに分かれて話し合いました。また、自分の全く知らない言語で書かれた標識を見て、正しく判断することができるか、という経験を通して、改めて知らない言語の中に身を置くことの大変さを知りました。

以下の①～⑥の日本語を「やさしい日本語」にしてみましょう♪

- ①給水所
- ②健康診断
- ③保護者
- ④義務付けられている
- ⑤明日は、お泊り保育のため、10時の登園になります。
- ⑥お召し上がりください

「ことば」を「やさしく」
言い換えてみましょう！

解答例は最終ページにあります

第3回 日本語学習支援者養成講座は、『外国人市民の「声」を聴く』というテーマで、実際に廿日市に住んでいる在住外国人8名にゲストとして参加してもらいました。



少人数のグループに分かれて、それぞれゲストの在住外国人の方々とお話しました。まずはゲストのみなさんがどんな国から来たどんな人なのか、質問をしたあと、日本に来て、困った事、廿日市に住んでいて今、悩んでいることがないかなどを伺いました。ゲストの方々のお悩みの中には、近所の人との会話はどうしたらいい？挨拶をしても大丈夫？友達を作りたいけどどうやったら作れるのか分からない。といった、地域の方との関わり方についてのお悩みの声が聞かれました。参加者のみなさまからは、それなら私たちが友達になるよ！これからいろんな活動を通して一緒に関わっていきましょう！と前向きな声がたくさん聞かれ、ゲストのみなさんも喜んでおられました。

地域に外国人の方が住んでいるのは知っているけど、どうやって関わったらいいかわからない。これは我々日本人も同じような悩みを持っている人が多いのでは。在住外国人の方々和我々日本人が同じように関わり方がわからないと思っていることがわかりました。今後、宮内地域に立ち上げる日本語教室では、日本語を教えるということだけでなく、お互いに同じ地域に住む住民として、活動を通して関わり合えるみんなの居場所にしたい。講座を通して改めて地域日本語教室の役割について考えることができる時間となりました。ご参加いただいたみなさま、これから一緒に地域日本語教室を作り上げていきましょう！！

木曜通訳ボランティア～似島フィールドワーク～

毎月第1第3木曜日に活動中の木曜通訳ボランティアのみなさまの平和学習「似島フィールドワーク」に同行させていただきました。ワンデイピースツアーで鑑賞した廿日市の被爆証言DVDでは、似島から廿日市港へ帰着いた多くの負傷者を必死で救護した体験が語られていました。似島歴史ボランティアガイドの会宮崎佳都夫会長に案内していただき、広島戦争の歴史についてまた新たな一面を知ることができ、大きな学びとなりました。

《似島と戦争との関わり》

日清・日露戦争から第1次・第2次世界大戦にかけて、似島には世界最大級の検疫所が建てられ、戦地から帰還する軍人、軍属の検疫を行いました。当時海外ではコレラなど多くの伝染病が流行しており、それらを国内に持ち込まないために検疫所が設けられたのです。また、日露戦争以後は戦地で捕らえた俘虜を収容する施設としても使用されました。それ以外にも、第1次世界大戦後に弾薬庫が置かれたり、第2次世界大戦末期には海上挺進戦隊（いわゆる「海の特攻隊」）の訓練基地が置かれるなど、戦争とは切っても切れない地となりました。

原爆投下前、似島検疫所には大空襲時の備えとして約5千人分の医療材料や医薬品が備蓄され、臨時救護所に指定されていました。原爆投下当日から臨時野戦病院となり、1万人以上の負傷者が船で似島へ運ばれ収容されましたが、その多くが亡くなり火葬・土葬されました。戦後発掘された遺骨は合計約5千体にのぼっています。

宇品港から高速船で15分



← 棧橋で、宮崎さんから似島と戦争の歴史についてお話を聞きました。



↑ 戦争遺構に関する資料や被爆者の遺品など約100点を展示した似島平和資料館が2021年開館

← 島内には3か所の軍用棧橋が当時のまま残されています。原爆投下当日から、これらの棧橋にたくさんの被爆者が運ばれてきました。



↑ 約500体の遺骨等が発見された似島中学校校庭横の慰霊碑前で、記念撮影



↑ 弾薬庫へと続くトンネル。トンネルは当時のまま残されています。



↑ 今でも滾々と湧くこの井戸の水は、原爆投下後、運ばれてきた多くの負傷者の救護に使われました。広島平和記念式典の献水としても使用されています。

イベント情報 2022年3月

日付	内 容	時 間	場 所	対象・定員		参加費	主催
				子供	大人		
3日 17日 (木)	「木曜通訳ガイドボランティア」活動日 ボランティアグループ「木曜通訳ガイドボランティア」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:30 ～ 11:30	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問 い合 わせ 下 さい	木曜通訳 ガイド ボラン ティア
8日 15日 22日 29日 (火)	「Enjoy English」活動日 自主学習グループ「Enjoy English」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:45 ～ 12:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問 い合 わせ 下 さい	Enjoy English
12日 (土)	「ときめき韓国旅」 韓国の歴史から最新のファッションまで、韓国の今と昔について、韓国からの留学生キム君にお話していただきます。	14:30 ～ 16:00	廿日市市 市民活動 センター		○ 学生 歓迎	無料	廿日市市 国際交 流協 会

※各講座へは事前の申し込みが必要です。

また、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、ご案内しておりますイベントの中止や、活動グループが活動を自粛している場合があります。予めご了承下さいませ。

「やさしい日本語」 言い換え問題 解答例

- ①給水所・・・水を もらうことが できる ところ
- ②健康診断・・・元気ですか。体は悪いところはありませんか。そのことを調べます。
- ③保護者・・・お父さん・お母さん・家の人
- ④義務付けられている・・・必ずしなければなりません
- ⑤明日は、お泊り保育のため、10時の登園になります。
・・・明日は、保育園に泊まります。10時に、保育園に来てください。いつもより遅いです。
気を付けてください。
- ⑥お召し上がりください・・・食べてください。どうぞ。

いかがでしたか??地域に住む外国人の方とお話するときは、ぜひ「やさしい日本語」を使ってみてくださいね。

【お知らせ】

新年度からの事務局新体制に伴い、事務局員を募集致します。
募集要項につきましては、別紙をご参照のうえ、ご応募くださいませ。

編集・発行 廿日市市国際交流協会 Hatsukaichi International Association

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号 廿日市市市民活動センター内

TEL (0829)20-0116(火曜～金曜 9時～17時) FAX (0829)30-3113

ホームページ: <http://hia.hatnet.jp/>

e-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp Face book: <https://www.facebook.com/>



ときめき韓国旅

ときめく韓国の今と昔。

歴史ある文化財から今話題の食やファッションまで 韓国の歴史と文化をひもときます。

日時:2022年3月12日(土曜日)14:30~16:00頃

場所:廿日市市市民活動センター 2階 第1研修室

講師:キム キョンジュさん

定員:30名(先着順)

会費:無料

~注意事項~

☆当日、体調のすぐれない方、発熱、咳等の症状がある方は参加をお控えください。

☆必ずマスクの着用をお願い致します。

☆新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、講座が中止となる場合があります。

【お申し込み・お問い合わせ】

廿日市市国際交流協会

TEL:0829-20-0116 E-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp

韓国好きさん
集まれ!!

